

第1回取手市自転車活用推進会議 議事録

1. 開催日時 令和3年5月28日(金) 14:00~16:10

2. 開催場所 取手市役所 議会棟 大会議室

3. 推進会議委員

(敬称略)

No.	組織名	委員役職	委員氏名
1	筑波大学	教授	岡本 直久
2	自転車ツーキニスト		疋田 智
3	取手市バイコロジー運動推進協議会	会長	小嶋 吉浩
4	取手市小中学校 PTA 連絡協議会	会長	角田 知巳
5	取手市商工会	女性部長	成島 久美子
6	取手警察署	交通課長	土井 孝彦
7	取手市スポーツ協会サイクル部	部長	蛭原 茂夫
8	日本競輪選手会茨城支部	支部長	戸邊 裕将
9	茨城県自転車競技連盟	理事	北見 裕史
10	東日本旅客鉄道(株)	取手駅長	天満 裕一
11	関東鉄道(株)	施設課長	渡辺 敬史
12	取手市議会	議員	染谷 和博
13	国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所守谷出張所	出張所長	作田 大
14	国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所取手出張所	出張所長	作左部 敏幸
15	国土交通省関東地方整備局下館河川事務所藤代出張所	調査課長	永井 一郎
16	茨城県スポーツ推進課	課長	海老原 二良
17	茨城県竜ヶ崎工事事務所	道路整備第二課長	吉岡 博之
18	茨城県自転車競技事務所	所長	角田 浩美
19	取手市	副市長	吉田 雅弘

4. 出席者

委員

(敬称略)

No.	組織名	役職	氏名	備考
1	筑波大学	教授	岡本 直久	
2	自転車ツーキニスト		疋田 智	
3	取手市バイコロジー運動推進協議会	会長	小嶋 吉浩	
4	取手市小中学校 PTA 連絡協議会	会長	角田 知巳	
5	取手市商工会	女性部副部長	高嶋 ますみ	代理出席
6	取手警察署	交通課長	土井 孝彦	
7	取手市スポーツ協会サイクル部	部長	蛸原 茂夫	
8	日本競輪選手会茨城支部	支部長	戸邊 裕将	
9	茨城県自転車競技連盟	理事	北見 裕史	
10	東日本旅客鉄道(株)	取手駅長	天満 裕一	
11	関東鉄道(株)	施設課長	渡辺 敬史	
12	取手市議会	議員	染谷 和博	
13	国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所取手出張所	出張所長	作左部 敏幸	
14	国土交通省関東地方整備局下館河川事務所藤代出張所	出張所長	川口 忠延	代理出席
15	茨城県竜ヶ崎工事事務所	道路整備第二課長	吉岡 博之	
16	茨城県竜ヶ崎工事事務所	道路整備第二課	石和田 大輔	随行
17	茨城県自転車競技事務所	運営課長	倉又 英幸	代理出席
18	取手市	副市長	吉田 雅弘	

事務局

1	取手市まちづくり振興部	部長	野口 昇	
2	取手市まちづくり振興部 産業振興課	課長	海老原 輝夫	
3	取手市まちづくり振興部 産業振興課	課長補佐	数藤 弘人	
4	取手市まちづくり振興部 産業振興課	主事	廣瀬 唯	
5	取手市まちづくり振興部 産業振興課	主事	森田 博暉	

5. 会議の定足数等、会議の成立に関する事項

取手市自転車活用推進会議設置要綱第6条第2項及び4項の規定により、委員14名、代理人3名、合計17名の出席をもって、本会議は成立する。

6. 会議及び会議録の公開又は非公開の別

取手市自転車活用推進会議の会議及び会議録については、取手市自転車活用推進会議設置要綱第6条第6項及び「取手市審議会等の会議の公開・会議録の作成に関するガイドライン（令和3年4月1日施行）」に基づき、原則として公開する。

7. 議事内容

(1) 議題

① 議案第1号 会長及び副会長の選出について

〔賛否の決定等、議事の結果に関する事項〕

会長 小嶋吉浩 委員

副会長 岡本直久 委員

全員賛成で承認

② 議案第2号 取手市自転車活用推進課意義に係る会議録の公開の取扱（案）について

〔賛否の決定等、議事の結果に関する事項〕

別紙資料のとおり、全員賛成により承認。

〔委員発言内容〕

特になし。

③ 議案第3号 自転車活用推進に係る施策目標及び検討課題について

〔賛否の決定等、議事の結果に関する事項〕

別紙資料のとおり、全員賛成により承認。但し、施策方針の記載順については、次回会議以降に検討をしていくこととする。

〔委員発言内容〕

○委員

スポーツジムにあるエアロバイクで、もしいろんな町のいろんなところに行けるシミュレーターみたいなのがあったら、自転車を買えない人とか、自転車を持っていない人も楽しんでいただけるのかなと思いました。例えば駅の何かの施設に来たら世界中どこでも自転車で旅ができるよなんていうのがあ

るといいなと思いました。

○委員

何年も自転車を利用してない私としては、自宅にある自転車をまず修理して乗り始めようと思いました。車で走っていて、本当に自転車を利用する、車を免許返納された方にすごいブレーキをかけてしまう瞬間が結構多いのは、本当にここ1年くらい特に増えて、本当に今までにないくらいドライバーとしての注意をしています。自分もこの会議に参加した以上、自転車をもう少し利用して、いろんな感覚をまずは自分からつかみたいと思います。

○委員

交通事故を目の当たりにしていると、自転車と歩行者、自転車と自転車というケースも多く見受けられます。そこで思うのは、環境の整備、安全安心に関わるころだと思んですが、ぜひ自転車保険も一緒に推進出来たらなと思います。自転車に乗ってけがを負わせてしまって、何の保険も入ってない方は、非常に悲惨な形になってしまうというのを目の当たりにしていますので、ぜひ並行してそういった取組が出来たらと考えております。

○委員

マナーの向上、この一言につきるような感じがするんですが、いかがでしょうか。自転車は本当に乗りやすい乗り物で便利ですが、後ろを見ないで、左折したり右折したり平気でやる人が多いですから、その辺をもう少し徹底できればと思います。

○委員

ぜひ競輪場に足を運んで見ていただきたいと思ってます。サイクリストがたくさんいるので、気軽にサイクリングのついでに休憩しに寄ってもらって、競輪のベースの見てもらいたいと思います。ギャンブルとしてだけではなくて、競技としてもすごいすばらしい競技だと思っています。あと、一般の方とサイクリングをしてみると、河川敷沿いを回ると、まだまだちょっと整備されてないか所があって、先ほど言った安心安全というところもありますので、そういうところも整備していただければなと思ってます。

○委員

競輪場をお借りしてトラックのレースと、取手緑地運動公園をお借りしてクリテリウムを現在行ってるんですが、下はアンダー6の部というのがあります。

まして、6歳以下のお子様、あとは小学生中学生以上からマスターズのクラスまで、70歳ぐらいの方までいろいろな方が出てきて、自転車は危険が伴うので、安全、を確保した上でやっているんですが、終わってからの皆さんのすごい達成感、本当に、泣きじゃくって喜ぶ方もいますし、また来ますよとにこにこ帰っていただける方もいるのだから、自転車は危険を伴うスポーツではあるけれど、その分、達成感は一倍ですし、生涯できるスポーツの一つと捉えてますので、ぜひ何か有効活用できるように取手市を挙げて何かできるようなことに協力できればと思います。

○委員

車を運転しているときに、対向車線を走ってるような自転車も中にはいるので、ルールを守っていただきたいということ、快適に活用していただけるような計画になればいいなと思っています。

取手市においては、環境ということで気候非常事態宣言を出しております。二酸化炭素排出ゼロということで、自転車を市民の皆さんに活用していただければと思っていますので、計画の中で進めていただければと思います。

○委員

・毎日車で職場まで通勤してるんですけども、何度かやっぱり交通マナーが悪い自転車とぶつかりそうになったことがありますので、やはり自分もマナーの向上を優先してやっていただければなということ、あと自分も自転車が好きで、ロードバイクに乗ってた時期があったんですけども、こちらは駐輪場に置いていて、盗難に遭ったということもありますので、駐輪場の整備も進めていただければありがたいなと思います。

○委員

・道路整備の視点で見ると、施策目標ですと、環境整備というところに値すると思うんですが、確かに自転車の専用道路とか、サイクリングロードとかという整備も必要だと思うんですが、公共道路という立場から申しますと、やはり通学道路や、これから高齢化社会に向けて、お年寄りが安全で安心して使えるような道路の整備を目指す必要があるのかなと感じました。

○委員

堤防管理の視点で見ると、JR常磐線から稲戸井橋までの西側と南側の堤防は、県が自転車道としてきれいに整備されていて、朝晩は小中学生、高校生とかがよく利用されて、一般道路を通るよりは安全かなと思っていますが、

土日になるとスポーツサイクルがかなりスピードを出してきて、堤防下、利用者が子どももいたり、足腰の弱いお年寄り、その横をスピードを出して通るといことで、結構苦情が河川管理者にも来ます。その辺の安心安全を考えると、やっぱり先ほどから言われてるようなルールがもう少し徹底されるといいと思います。

○委員

結構堤防とか管理している中で地元の人とお話しする機会というのがあるのですが、その中でよく言われるのが、サイクリング等をしている方って結構長い距離走ったりしている中で、民間のお宅にトイレを借りに来る方もおられるというようなことで、知らない人が突然自宅に来られてトイレ貸してくださいってというようなケースがあるということと言われる方もいて、トイレを整備出来ないのかなあという話を聞くこともありますので、そういうこともちょっと環境的な面でも、適正な空間みたいなところを反映できればなと思います。

○委員

サイクルツーリズムを推進していただきたいなと思っております。取手には小堀の渡し等、非常に観光資源がありまして、以前東京の方が小堀の渡しに自転車と乗ったら非常に感激しておりまして、何で宣伝しないんだと逆に言われてしまったくらいです。あと先ほど言いました小貝川のあたりも非常に走りやすいですので、ぜひともその辺を推進していただければなと思っております。

○委員

茨城のサイクルツーリズムで1番上に施策目標、観光振興とあるとおり、ロードバイカーの方の外部からの人の呼び込みに重点を置いた計画になっていることもあるんですが、やはり自転車に乗っているのはシティーサイクルに乗った地元の中学生高校生大学生の学生たちが、駅まで利用するということが非常に多いと思うんですね。それをぜひ、計画の中で置いていかないでほしいというのがあります。常総線の沿線関係を見ても、新しい駅のゆめみ野駅は今、自転車が1番停めきれないくらい増えている。一方で、戸頭駅はもう成熟した町ですので、自転車が縮小傾向できれいに整理されてるところもありますので、そういう点の利用環境も、この中で環境整備は4番目になっているんですが、そこを置いていかないでほしいというのが、鉄道会社としての意向でございます。

○委員

私もやはりマナーが非常に大事かなと思ってます。確かに環境をしっかり整えるということも大事ですが、やはりいい環境を整えても、マナーを守らなければ、全然安全にはつながっていかないだろうと思ってますので、非常に基礎の部分ですけれども、マナーの向上というのは非常に難しいと。当社の鉄道でも様々なマナー向上運動をやっていますが、なかなかお客様が聞いてくれない。例えばホーム上でのスマートフォンを止めようと言っても止めないので、スマホをしたまま線路上に転落して大けがをすることもあると思いますし、やはりマナーがきちんとよくならなければ、幾ら環境整備をしても、なかなか難しいのではないかと思います。私もここ1年ぐらい、今まで最寄りの駅まで車を使ってたんですが、今、自転車で通っていて、非常に足腰が軽くなりましたので、やはり自転車は体にいいんだなというのが自ら実感しております。ぜひ、みんなで盛り上げて、マナーを向上しつつ、安全安心で、また、地域の復興につながればと思っています。

○委員

2点だけお話しさせていただくと、最近僕の研究室にもやっぱり自転車の研究がしたいという学生が来るのですが、ある近隣市の自転車施策を持っていったら、あんな路肩なんて1番走りにくいところを自転車走行台にして何考えてるんでしょうかという意見がありました。その市は路肩を自転車道としてるのですが、道路というのは、水を外には排出するために斜面がついて、路肩はすごく走りにくいのに、あんなことしちゃってという、若者はそういった目で見ているので、もっといいアイデアを考えようと言って1人、今、研究に取り組んでいます。そういうアイデアでこの計画を作れたらなと思いますが、一つは他の委員さんと180度違うのですが、まちづくりっていうのはやっぱり市民ファーストだと思うのです。観光というのは、やっぱり来訪者ファーストなので、年に1回か2回しか来ない人をハッピーにさせるよりは、やはり市民を優先したいと思います。どちらかというとな今示されているサイクルツーリズムは、優先順位が低いんじゃないかなと僕自身は思います。そういう目で見ると茨城県の観光施策を最優先する方針には賛同しかねます。

④ 議案第4号 自転車市民アンケート調査の実施(案)について

〔賛否の決定等、議事の結果に関する事項〕

別紙資料のとおり、全員賛成により承認。但し、委員からの意見を参考に修正を加えることとする。

〔委員発言内容〕

○委員

市内高校生のアンケートなのですが、取手一高の場合恐らく駅から近すぎるので高校生自体が取手市内を自転車で走ってないんじゃないかと思うんです。その辺はどのようにお考えでしょうか。

○事務局

はい。おっしゃるように取手一高は取手駅の目の前にありますので、確かに電車通学する生徒さんが多いとは思いますが、自転車競技部があって自転車に対して非常に理解がある学校だと思った上で、入れさせていただきました。しかし駅に近い学校だけではやはりリアルな自転車通学における様々な課題が見えてこないと思いましたので、そういった意味で藤代高校を追加させていただき、2校という形にしております。実際に駅から離れてるのは例えば取手松陽高校や藤代紫水高校など幾つかありますが、その辺は基本的には15歳以上の方を郵送アンケートで大きく網羅してるということで、そのほかの中で、代表2校ということで、取手一高と藤代高校にしてみたというところですが、もし必要であれば、学校を増やすことなども可能かなと思っております。

○委員

もし間に合えばこれは変えたほうがいいと思いますが、この調査対象を15歳以上というのは何か意味ありますか。よろしくお願いします。

○事務局

基本的には高校生以上を想定してございます。

○委員

自転車の法律っていうのは、13歳以上っていうのが自転車界の大人ですよ。つまり、13歳未満は歩道通行が無条件で許可されてるとか、非常に意味がある数字なんです。自転車の事故っていうのは、基本的に中学校1年生と、高校1年生が非常に多いんですよ。13歳を入れることっていうのには非常に意味があって、なおかつ取手市でしょう。市町村が管轄するのは高校じゃなくて、小中学校じゃないですか。それらを考えると、やはり13歳から入れたほうが、アンケートの意味が格段に上がると思うんですよ。もし変更可能だったらそうしたほうがいいと思うんですよ。事務局どうですか。

○事務局

貴重な御意見ありがとうございます。アンケートもちろん変更も可能ですし、対象変えることも可能です。13歳以上で例えばこのようなアンケートの内容で同様なもので、中学生でも大丈夫でしょうか。もう少しかみ砕いたほうがいいでしょうか。

○委員

できればある程度統一したアンケート内容で、年齢別でもいろいろ意識というのは多分いいと思うんですよ。なぜかという、それぞれ知らないとか、そもそもルール自体を知らないとか、そういう選択肢を用意してあるので、子どもだったら知らないにチェック入れちゃえばいいという、そういう考え方で多分いいと思うんですよ。

○事務局

わかりました。そうしましたら、こちらは自治体の事務局内部でも、一度預からせていただきたいと思います。基本中学生以上という捉え方で、教育委員会と連携を図りながら、せっかくいただいた貴重な御意見ですので、対応できるように検討をして参りたいと思います。

○委員

私も職場で藤代駅から歩いて行くときに、藤代高校の学生と藤代中学校ですかね、小浮気のバイパスの交差点、あそこでよく中学生が自転車で通われているのを見てたので、先ほどの意見と同様に、中学生も入れたほうがいいなというのが1点です。それと、生徒への対象が自転車利用者だけではなく全生徒というイメージでいいんですかね。

○事務局

せっかく実施するのであれば、自転車利用者に限るというよりは学年単位での全生徒を対象に実施したいと思います。学校はある程度指定した形で考えさせていただければと思うんですが、中学生も対象として、ある程度、学校の協力をいただきながら、アンケートを実施したいと思います。

○委員

2,000名に無作為で抽出してという形になっているのですが、例えばですが、世代別に自転車利用の割合が、例えば20代が多いなど、比例配分で無作為抽出するなんていう方法、例えば70代で1人も取手市民で乗ってなかった

ら、ちょっとポイントがずれてしまうのかなと。基本理念のところから、自転車交通の役割を拡大することとか3つ目とか4つ目の交通安全確保を図ることというのは、自転車を持っていない人でも意味があると思うんですけど。その基本理念に基づいたアンケート結果を得るためには、どうなのかと。下手すると70代にいっぱいアンケートが配布されてしまうとかそんなことも、考えられるので、その辺はどうお考えになったのかなということをお聞きしたいなと思います。

○事務局

貴重な御意見ありがとうございます。これだけではわかりづらいので、無作為抽出では一応あるのですが、年代と、あと地域、その辺はある程度バランスがとれるような抽出にしたいと考えております。やはり様々な年代で自転車に対する捉え方が、普段の生活で利用してる方もいれば、いわゆる通勤通学とか幅広い用途で考えられますので、その辺は年代と地域はできるだけバランスの取れた抽出方法で、無作為抽出という形で考えておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

○委員

そうやってもらえると本当にありがたいと思います。私、井野台というところでマンションに住んでるんですけど、正直小学生の自転車の保有率が非常に低いです。駅に近いから乗らない人たちがたくさんいるし、残念ながら自転車の必要性があんまりない地域になっちゃってるんですよ。そういう人たちに対して、健康寿命の延伸だとかそういう意味で自転車って楽しいんだよということを伝えるために、アンケートの必要性ってのは重々わかってるんですが、くれぐれも情報はお金をかけてキャッチアップするので、できるだけ有効性の高いアンケートの取り方をお願いできればなと思っています。

○委員

非常に細かい話で申し訳ないのですが、7番の無料自転車駐輪場で取手市内で、多分市営で市で管理されてるところが先ほど申し上げたゆめみ野駅も大分取手市さんで、管理に苦勞されてると話を聞くので、もし漏れてたら追加お願いできればと思います。

○事務局

はい。確認して、漏れがないか今一度再確認いたします。ありがとうございます。

○委員

今の議論ですが、もっと自転車を本当に使ってる人たちがどんな苦勞をしているんだろうということを聞こうと思うと、アンケートじゃなくて、例えばサイクルステーションで、待ち構えてインタビューするとか、別にもいろいろな情報の取上げ方はあるんだろうなと思いますので、御検討いただければということと、あと、細かい話ですけど枚数がA4で3枚ですよ。これ、A3であると、多分余るんですよ。先ほど高嶋さんがおっしゃってたように生活の中でいろんな経験をされて、皆さんおっしゃってたように、それが6番の3行で足りるのかなとかね。あと9ページ、自由記述って、もうこれだけ開いているんだったら、1ページ自由記述にしちゃったっていいじゃないか。そういうふうに思いますので、もっといろいろ書き込めるところを増やしたほうがいいかなと思いました。

○会長

ほかに御意見ございますか。それではないようですので、事務局として、今の出された意見を考慮してアンケートを手直しするという事で、事務局よろしくをお願いします。

○事務局

ただいまの皆様からいただいた貴重な御意見を事務局のほうで検討いたしまして、そこをフィードバックするような形で皆様に改めて御示させていただければと考えております。よろしくをお願いします。

8. 次回日程等

第2回取手市自転車活用推進会議については8月中旬から下旬の開催を予定